

競技注意事項

1 競技規則について

◇ 本大会は、2019年公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則、並びに本大会申し合わせ事項よって行う。

2 練習について

- ① 練習会場は、栃木県総合運動公園陸上競技場内とし、使用場所や時間帯を指定する。(栃木陸協Webサイトに掲載)
- ② 練習は引率責任者の指導のもと、時間と場所を厳守し競技役員の指示に従って行う。
- ③ 競技開始前以外の投てき練習を禁止する。

3 競技場について

◇ 主競技場は、全天候舗装であり、スパイクシューズのピンの長さはトラック競技9mm以下、フィールド競技12mm以下とする。

4 招集について

- ① 招集所は、第4ゲート(200mスタート)外側に設ける。
- ② 招集開始時刻(点呼開始)及び招集完了時刻(移動開始時刻)は競技開始時刻を基準とする。

種目	招集開始	招集完了
トラック種目	20分前	15分前
走高跳・走幅跳・三段跳	40分前	30分前
棒高跳(男子)	45分前	40分前
棒高跳(女子)	45分前	40分前
砲丸投・円盤投・やり投・ハンマー投	40分前	30分前

- ③ 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技を種目を棄権したものと処理する。
- ④ 競技者は招集開始時刻に招集所で待機し、最終確認を受けること。その際にナンバーカード、スパイクピンの長さ、靴底の厚さ、商標等の点検を受ける。
- ⑤ 代理人による最終確認は原則として認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は招集開始時刻までに、その旨を招集所競技者係に申し出る。

5 棄権について

◇ 出場種目を棄権する場合は、招集開始15分前までに、棄権する旨を招集所競技者係に申し出る。

6 ナンバーカードについて

- ① ナンバーカードは配布された大きさのまま、ユニフォームの胸部と背部につけること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部のみでよい。
- ② トラック競技出場者は、写真判定用の腰ナンバーカードを招集所で受け取り、パンツ右後方につける。(競技終了後回収)
- ③ ランニングシャツは、確実にランニングパンツの中に入れること。

7 入退場について

◇ 競技者の入退場は、競技役員の指示に従い、規律ある行動をとるよう心がける。

8 競技の抽選、番組編成について(レーン順・試技順)

- ① トラック競技の組・走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選しプログラムに示す。
- ② トラック競技の決勝の走路順は、主催者が抽選し競技場正面玄関に掲示する。

9 計時について

◇ すべてのトラック競技は写真判定(1/100秒)で行う。

10 トラック競技の決勝進出について

- ① タイムレース(TR)の決勝進出者はタイム順に8人とする。
- ② トラック競技のプラス進出者を決める場合、その最下位で同タイム者が出たときは、下記の方法で決定する。
 100m・200m・400m・800m・100mH・110mH・400mH・4×100mR・4×400mRの同タイム者(チーム)については、レーンに余裕がある限り次のラウンドに進出させる。レーンに余裕がない場合は、同タイム者(チーム)または代理人によって抽選する。

11 トラック競技について

- ① 短距離競技では、競技者の安全確保のためフィニッシュライン通過後も割り当てられたレーン(曲走路)を走ること。
- ② 男子5000m・女子3000m競技はエントリー多数の場合は、階段式スタートとする。
- ③ 競技運営上、男女5000mW競技において、スタートから35分で最終周回に入っていない選手は、競技終了とする。

12 リレー競技について

- ① リレー競技に出場するチームは、リレーオーダー用紙を招集完了時刻1時間前までに招集所競技者係に提出する。
- ② リレー競技においては、同一チームの競技者は同一のユニフォームを着用する。

13 跳躍競技について

① 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方は下記の通である。(予定)

種 目	練 習									
男子 走高跳	1m55 1m80	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	1m95	以後3cm
女子 走高跳	1m30 1m50				1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	以後3cm
男子 棒高跳	2m50 3m50 4m00			2m60	2m80	3m00	3m10	3m20	3m30	以後10cm (5cm)
女子 棒高跳	1m70 2m20						1m80	2m00	2m10	以後10cm (5cm)

② 第1位決定のための、バーの上げ下げは走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。

③ 三段跳びの踏切位置は、男子12m、女子10mとする。

14 入賞・得点について

① 各種目入賞は第8位までとする。

② 各種目の得点は、1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点とする。

③ 男子及び女子別の合計得点によって、学校順位を決定する。(同点の場合は上位種目の多い学校を上位とする。)

15 賞状について

① 学校対校男女別第8位まで賞状。

② 種目別第3位まで賞状。

16 抗議について

◇ 競技規則第146条による。

17 助力について

◇ 競技規則第144条による。

18 競技場使用について

① 本競技場の使用時間は7:30～18:00までとする。

② メインスタンドでの集団応援は禁止とし芝生席のみ可とする。【ただし、近くでフィールド種目実施中は控える】

③ 参加校待機場所については、年度当初よりあらかじめ決められた場所とする。

④ 発雷など荒天時は主催者の指示に従い、速やかに屋内に退避する。

⑤ 本競技場において、横断幕・部旗・のぼり旗等を設置する場合は、メインスタンド最上部、バック・サイドスタンド芝生席後方の「てすり」を使用する。【ガムテープ使用禁止】

19 競技用器具について

① 競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用する。

② 競技者所有の棒高跳用ポールは、競技場所での検査に合格したものが使用できる。

③ 競技者所有の投てき用器具は検査に合格し、全参加者が競技会での使用を条件に持ち込みを認める。

④ 持ち込む投てき用器具は、競技開始1時間30分前から1時間前まで器具庫Aで検査受付を行う。

20 プログラム訂正について

◇ プログラムに訂正がある場合は、大会第1日目の競技開始1時間前までに、大会本部に申し出る。

21 補助員協力について

◇ 参加校の補助員は、競技開始1時間前までに補助員係に申し出る。

22 関東選抜新人大会について

① 本大会の各種目3位(3人・3チーム)まで、関東選抜新人大会の出場権を得る。

② トラック競技で、第3位同タイム者(チーム)が出た場合は、同タイム者(チーム)または代理人による抽選で出場権を決定する。但し、1/1000秒以上の差があれば着差ありとする。

③ 関東選抜新人大会の出場権獲得者が出場を辞退した場合は、次点順位者が出場権を得る。

23 その他

① 競技会で発生した傷病等については、主催者が応急手当をする。

② 貴重品は各自で責任を持って保管し、盗難、紛失等に十分注意する。

③ ゴミは各自、各チームで持ち帰ることとする。